

平成29年度事業報告

1. 事業概要

平成29年度は、シルバー人材センターの公益目的事業の実現を目指し、会員増強、受託事業拡大を最重要課題に掲げ取り組みました。人口減少に伴う労働力不足等による、定年延長や再雇用制度といった労働環境の変化、あるいは、高齢者を取り巻く多様な環境変化などにより、依然として会員数の拡大には至っていません。これに伴い、会員数不足と高齢化等により、就業会員数にも制限が開始されたために、新規受託事業の拡大を図ることも出来ませんでした。

また、受託事業では一部で継続受注の更新が叶わなく、受注件数の削減により大きな落込みとなりました。その結果、受託事業収益の前年対比では94%台に留まり非常に残念な結果となりました。

このような情勢の中、平成30年度では役職員、会員がこの状況を再認識し、シルバー人材センターの根幹である「会員数の増強」、「受託事業の拡大」を常に意識し積極的に事業運営に取り組んでまいります。

そして、年々進行する高齢化社会に対応すべく「生涯現役社会」の実現に向け、高齢者の優れた知識と豊富な経験を共有し合い、地域のニーズに対応出来るよう会員同士が自主的にスキルアップを図り、事業を展開させました。

シルバー人材センターの基本理念「自主・自立・共同・共助」のもと、地域社会からの信頼確保に努め、ニーズに対応できる事業運営を行い、次年度においても引き続き取り組んでまいります。

2. 就業機会提供事業及び就業機会確保事業

高齢者にふさわしい臨時的かつ短期的で軽易な仕事を発注者より請負、委任又は派遣により引き受け、会員の希望、知識、経験等を考慮しながら、多くの会員が就業機会を得られるよう平等にグループ就業やローテーション就業を進め就業機会の提供、確保のため以下の事業を実施しました。

(1) 安全・適正対策推進事業

会員の安全意識の向上と事故撲滅を第一目標に掲げ、安全・適正就業に努めました。しかし、本年度では物損事故4件、傷害事故1件が発生しました。いずれも日頃の慣れによる過信が要因となっていることから、今後も安全就業に対する取り組みを強化し、事故ゼロを目標に、事故撲滅に努めてまいります。

また、良い就業をするには健全な身体が資本となることから、健康診断の促進や健康管理についての情報発信を行いました。

適正就業対策については、就業の適正と公平を図ると共に、法令遵守の徹底のもと適正な受注と就業に努めました。

(2) 普及啓発事業

シルバー事業の普及とPRを図るため、春に東公園さくら祭り前の清掃の実施、秋には「シルバーの日」として10月18日に、「かぐじ広場」・「駅前広場」の清掃ボランティアを実施し多くの会員に参加いただきました。また、一方では役職員によりシルバー事業を地域社会に浸透させるためのチラシ配布と、会員増強の呼びかけも実施しました。

また、地域のイベントへ参加しシルバー事業を広く社会へ理解して頂くため、活動内容や写真等を用いてPRに努めました。

(3) 就業開拓提供事業

会員の増強に未だ至っていないことから、本年度も就業開拓のための企業訪問は実施しませんでした。しかし、頂いた受注に対しては、高齢者にふさわしい仕事を適正に引き受け、就業機会の提供に努めました。そのための就業希望調査を全会員に行い、就業の希望、経験、知識等を考慮し就業提供に努めました。

3. 就業機会提供のための独自事業

高齢者世帯を中心とした、高齢者世帯等除雪サービス事業や、家事援助 サービスを基本とする軽度生活援助事業を市役所から引き受け、事業内容に沿ったサービスを提供しつつ、高齢者世帯の手助けのための事業と位置づけ事業展開しました。利用者からの「安心・安全・信頼」を得る事業を展開するため、ローテーションを基本とし、また複数で業務にあたることを基本とするため、サービス内容を統一させるため勉強会や、情報の共有を図り事業に反映させました。